

評価の高かった上位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	学校は、生徒に学習の基礎・基本をしっかり教えている。	100%	1	子どもは、学校のきまり（身だしなみ・持ち物等）を守って生活している。	97%
1	学校は生徒の学力向上に向けての指導方法の工夫改善を図っている。（学力＝①基礎的な知識・技能②それらを使って課題を解決するための思考力・判断力・表現力③主体的に学習に取り組む態度）	100%	2	子どもは、交通ルールを守り、安全に登下校できるよう指導している。	96%
1	子どもの学力や努力は、正しく評価されている。	100%	3	子どもは、毎日朝食を食べている。	96%
1	学校は、「いじめ」の早期発見・早期対応、再発防止に努めている。	100%	3	子どもの学力や努力は、正しく評価されている。	96%
1	特別な支援や配慮が必要なときに、学校や先生に相談できる。	100%	5	学校は、保護者に対して誠意をもって対応している。	95%
1	学校では、地震などの災害が発生した場合の避難場所や避難方法を確認してある。	100%	6	子どもは時と場に応じたあいさつや正しい言葉遣いができている。	94%
1	各種たより(学校・学年・学級・保健・給食)等によって、学校の様子を伝えている。	100%	7	学校は、子どもの事故防止や登下校指導を含め、安全教育に努めている。	92%
1	学校は、子どもの事故防止や登下校指導を含め、安全教育に努めている。	100%	7	学校は、子どもの怪我や事故発生に際して、保護者と連絡を取り、適切に対応している。	92%
1	学校は、保護者に対して誠意をもって対応している。	100%	9	特別な支援や配慮が必要なときに、学校や先生に相談できる。	91%
1	学校は、子どものケガや事故発生に際して、保護者と連絡を取り、適切に対応している。	100%	9	子どもは、家庭や学校での役割に責任をもって取り組んでいる。	91%

評価の低かった下位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	学校は、朝の読書習慣が身に付くように指導している。	67%	1	子どもは、読書をする習慣が身についている。	34%
2	学校は、子どもがクロムブックを効果的に活用して学習に取り組めるよう指導している。	75%	2	子どもは、食べる事の大切さを理解し、好き嫌いなく食事ができる。	64%
2	学校は、校内に設置されている「いじめの相談窓口」を生徒に知らせている。	75%	3	子どもは、学年や学級の「誰かがいじめられている」事を見たり、聞いたりした場合そのことを家族や学校に相談している。	68%
2	学校は、生徒が交通ルールを守り、安全に登下校できるよう指導している。	75%	4	子どもは、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	69%

前年度より評価が上昇した上位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	子どもは、クロムブックを効果的に活用して学習に取り組んでいる。	75% (18%)	1	子どもの学力や努力は、正しく評価されている。	96% (12%)
2	子どもは、食後に歯磨きをするなど、むし歯予防に心がけている。	100% (6%)	2	子どもは、時と場に応じたあいさつや正しい言葉遣いができている。	94% (11%)
2	子どもは、先生の授業は分かりやすいと言っている。	94% (6%)	2	学校は、「いじめ」の早期発見・早期対応、再発防止に努めている。	82% (11%)
2	子どもは、学習の基礎・基本がしっかり身に付いている。	100% (6%)	2	特別な支援や配慮が必要なときに、学校や先生に相談できる。	91% (11%)

関係者評価概要
 ・「学習指導」に関する評価が71%とやや低め。前年比1ポイント上昇したが、保護者の学習への関心が高く、学校に対し学力の向上を期待していることが考えられる。「子どもの学力を正しく評価している」(+12ポイント)と増加した。保護者も中学校の評価方法を正しく理解し、我が子の学習の様子を比較して適切であると判断している割合が増えたとみる。
 ・教職員に対する保護者からの見方は大半の項目で前年比プラスポイントになっており、教職員へ肯定的な見方をしている保護者が増加傾向にある。今後も生徒一人一人に対して、より一層丁寧に対応していく。

学校評価概要（本年度の評価と今後の改善点）
 ・家庭における子どもの読書習慣をどのように身に付けさせられるかが課題の一つである。家庭においても家庭学習に加え、読書をする習慣をつけさせる工夫をすべきと考える。
 ・今年度は、昨年度より引き続き、クロムブックを家庭でも活用できるよう、学級担任や授業担当で学習内容を工夫している。長期休業中の課題の出題・提出をクロムブック上で実施したり、定期試験問題への出題をその中からしたり、使用する場面をできる限り増やしている。今後もクロムブックの活用方法を拡大していく。